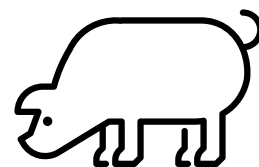
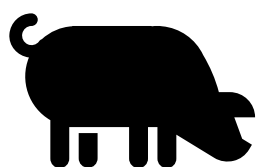


Actinobacillus pleuropneumoniae (豚)



農林水産省動物医薬品検査所

2026年 7 月

薬剤感受性試験(ディスク法)の判定基準値 -*Actinobacillus pleuropneumoniae* (App)-

背景

獣医領域ではブレイクポイント(BP*)のある薬剤や菌種が限られているため、薬剤感受性試験結果を判断することが難しい。

目的

全国から収集された家畜由来細菌を用いて調査解析し、判定基準値を示すことで、現場での薬剤感受性試験結果の解釈に活用すること。

被験菌

全国から提供された豚における病性鑑定由来App123株

方法

臨床検査標準協会(CLSI)に準拠した方法で微量液体希釈法*1及びディスク法*2を実施し、最小発育阻止濃度(MIC)とディスク阻止円径の相関を調べた。

結果

CLSIにBPの設定がない薬剤について感度・特異度ともに0.8以上の判定基準値を得た。

薬剤名*3	ディスク濃度	判定値						感度 (耐性一致率)	特異度 (感性一致率)
		MIC(μg/mL)*6			阻止円径(mm)*7				
		S	I	R	S	I	R		
ABPC	10μg	≤0.5	1	≥2	≥24	－	≤23	S:1.00 R:1.00	S:1.00 R:1.00
CQN*4	30μg	≤0.06	－	－	－	－	－	－	－
TC	30μg	≤0.5	1	≥2	≥24	22-23	≤21	S:0.96 R:1.00	S:0.98 R:0.97
TP	30μg	S≤1	－	－	≥25	－	－	1.00	1.00
SM*5	10μg	S≤32	－	－	≥7	－	－	1.00	0.93
KM	30μg	S≤64	－	－	≥15	－	－	1.00	1.00
TML	30μg	S≤16	－	≥32	≥9	－	≤8	－	－
TUM	30μg	S≤64	－	－	≥10	－	－	－	－
TMS	15μg	S≤16	－	≥32	≥11	－	≤10	－	－
ST	23.7/1.25 μg	S≤ 4.75/0.25	－	－	≥25	－	－	0.89	0.90

*1: 培地はMHF-Y(Mueller-Hinton Fastidious Medium With Yeast Extract(MHB+YeastExtract+LHB+β-NAD))

*2: 培地はChocolate MHA(MHA + Hemoglobin + IsoVitaleX)

*3: ABPC(アンピシリン), CQN(セフェム), TC(テトラサイクリン), TP(チンフェニコール), SM(ストレプトマイシン), KM(カナマイシン), TML(チアムリン), TUM(ツラソマイシン), TMS(チルミソシン), ST(スルファメトキサゾール・トリメトプリム)

*4: 供試株のMICは全て感性を示した。

*5: MICはDSM(ジヒドロストレプトマイシン)で測定

*6: MICの判定基準値: CQN, KM, STはEUCASTのECOFF(<https://mic.eucast.org/search/> 2024年10月時点)、TP, DSMは本調査で作成した疫学的カットオフ値 (Epidemiological Cut-off Values)を示す。その他の薬剤の値は、CLSI Vet01S 7th editionのClinical Break Points(CBP)を示す。

*7: 阻止円径について、色付きの値は本調査から得られた阻止円径の参考判定値を示す。その他の薬剤はCLSI Vet01S 7th editionのCBPを示す。